

感謝の言葉（8月）

血液内科 脳神経外科 の先生方

中央病棟5階のスタッフ

理学療法士の皆様方へ



2024.11～2025.2 まで家族が入院・治療でお世話になりました。脳神経外科の主治医の先生には＜中略＞、常に親身に対応していただき、安心してお任せすることができました。病棟看護師の皆様には＜中略＞不安な日々の中でその優しさに何度も救われ、家族一同深く感謝しております。血液内科の先生方には＜中略＞事前に丁寧にご説明いただいたおかげで、転院先でも戸惑うことなくスムーズに治療を受けることができました。＜中略＞ 清掃スタッフ、検査にご案内くださった皆様、熱心にリハビリを行ってくださった理学療法士の皆様、退院支援をご担当いただいた皆様＜中略＞おかげ様で本人は昨年秋に寛解し、現在は自力で通学できるまでに回復しております。このような日々を取り戻すことができたのも皆様のご尽力のおかげと心より感謝しております。

皆様のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

感謝の言葉（8月）

第1病棟8階 呼吸器内科の先生方 看護師、ヘルパーの皆様



肺感染治療中に急な発熱、発疹により入院をお願いしました。入院中に、より良い治療をご指示いただき、副作用がでないかしっかり経過もみていただき、正しく導いていただき心より、感謝申し上げます。

他科の受診もさせていただきありがとうございました。

看護師、ヘルパーの皆様、明るく親切に対応していただき大変助かりました。

ありがとうございました。

外来センター2階

消化器内視鏡科 ○○先生



2年半前に、胃を2/3切除する手術を女子医大で受けました。2年半ぶりに胃カメラを飲むことになりました。＜中略＞胃カメラの検査が終わり、麻酔がすっかりさめる迄待機しているところに○○先生が会いに来てくださいました。感激と感謝と嬉しさで辛かった事が晴れていきました。

○○先生は、優秀で人格者、人間性がすばらしい、思いやりにあふれた先生です。＜中略＞女子医大として大事にしてください。

最近、患者の顔さえ見ない医師が増えてきました。手術後の不安や心配を訴えてもよりそう事はなく、“そんなもんでしょう”とあっけなくかわされます。“辛かったですね。痛かったですね”その一言が患者に欲しいのです。＜中略＞こういう状況の中、○○先生は別格の先生でした。

今の時代“こういう先生もおられる！”をお知らせしたくて一筆書きました。



消化器内科の先生方

第1病棟7階 看護師の皆様

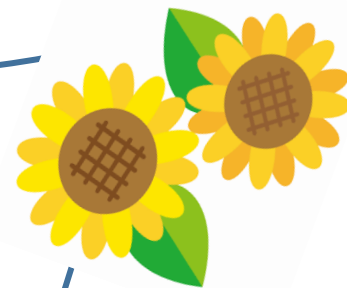
今回2度目の検査入院です。
この度も、思いやりのある、尊敬する
〇〇医師に2回目の検査をして頂きました。

そして〇〇医師、看護師さん皆様の温かさに
接し感謝しております。

ありがとうございました。

外来センター地下1階

採血室 CT室



いつも親切にご対応いただき感謝申し上げます。
検査で来院しましたが、静かで安心して受診できました。
採血では、若い方でしたが、優しく丁寧で不安なくできました。

CTでは、＜中略＞ 受付、スタッフの皆さんがとても優しく安心しました。

本当にこの病院に来てよかったとおもいます。
先生や看護師の方々、スタッフの皆様は毎日お忙しいにも関わらず笑顔で接していただき、本当にうれしいです。
皆様の御健康をお祈りしております。

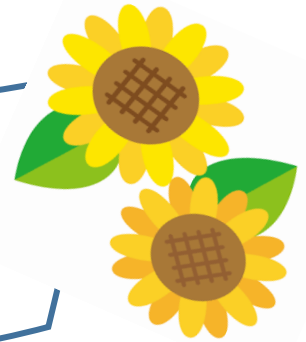
第1病棟2階 透析室看護師さんへ



今回の入院にあたり初めての人工透析を行う為、自分自身たくさんの不安がありました。人工透析の初日その不安は時間の経過に伴いなくなって来ました。それは看護師の〇〇〇〇さんの存在でした。一つ一つとても丁寧に説明をしていただき、最後には安心感さえ覚えることが出来ました。わからない疑問に対してもきちんと理解できるよう伝えてくれて本当に感謝しかありません。当たり前かもしれませんが、看護師さんのスキルの高さを肌で感じる事が出来ました。これからもがんばって下さい。ありがとうございました。

自宅に帰ってからの透析も、安心して次の病院で続けていける気持ちに自分自身力になりました。

中央病棟9階 泌尿器科 看護師の方々へ



前立腺生検のため中央病棟9階に入院しました。
7月21日に生検をしました、そのあと出血が多めで血尿の状態が続いていました。慣れないので尿管カテーテルから出てくる尿の色ばかりが気になって、あまり眠れなかったのですが、夜間担当の看護師さんだった〇〇さんは、多分1時間おき位に見に来てくださって色のチェックやカテーテルの袋にたまった尿を捨てるなどケアしていただきました。また、夜中の3時か4時頃には、血液が尿道で固まったり詰まったりすることを予防する為だと思いますが、膀胱の洗浄までして下さいました。とても本当に心強かったです。
＜中略＞病棟回診の時にも居て下さって、血尿の状態や洗浄したことなどを先生に説明して下さいました。〇〇さんが対応してくださらなかったら夜間ずっと不安だったと思います。心からお礼申し上げます。
＜中略＞ 中央病棟9階の看護師さんは皆さん親切、丁寧で他病院とは全く違いました。

ご意見へのお返事（8月）



<ご意見・ご要望など>

朝一番の受付と採血の受付について、朝、整理番号を取り受付をしますが意味ありますか？来た順番通り受付していないので、採血室前を上の受付機前でやっている様に並ばせれば良い。今は受付が一番でも、採血室までに抜かれて後になる人もいる。足の悪い方など朝一番に来て、採血は何十番も後になるのをよく見る。足の悪い人は病院も手助けするべき。

(R08. 6. 25日付けご意見)

<お返事>

採血の受付順について、ご迷惑とご不便をおかけしており、誠に申し訳ございません。

ご意見を重く受け止め、直ちに1階の整理券発行元である医事課と話し合いを持った上で、採血受付機前でも改めて順番に並んでいただく運用を念頭に、現場の状況を確認いたしました。

その結果、10名ずつ区切った受付案内と警備員の配置により、走ったり前の患者を追い抜いたりするような場面はほとんど見られず、入館から採血受付まで、概ね安全でスムーズな患者さんの流れが確保されていることを確認いたしました。ご指摘のとおり、状況によっては受付順が必ずしも整理番号どおりとならない場合があります、ご不便やご不満につながる可能性があることは認識しております。一方で、新たな運用を導入することによる混乱やトラブルの発生も懸念されます。また、1階の整理番号を採血受付でも流用することも検討いたしました但、患者さんから回収しない運用への変更が必要となり、それにより整理番号と外来受付番号が混在し新たな混乱を招くことも懸念されます。

以上のことから、いただいたご意見を踏まえ、改善の可能性について慎重に検討を重ねてまいりましたが、安全面および円滑な運用の維持を総合的に勘案し、現時点では現行の運用を継続するとの判断に至りました。ただし、患者さんのお気持ちを十分配慮し、追い越し等によりご不快な思いをされることのないよう、声掛けに努めてまいりますので、ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。このたびは貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

ご意見へのお返事（8月）



<ご意見・ご要望など>

採血の際、終わった後の絆創膏の貼る位置がずれていて、出血して血だらけになったことがあったので、正しい位置に貼って欲しいと思います。

(R08. 7. 17日付けご意見)

<お返事>

この度は、採血後の止血テープ貼付位置のズレにより、止血が不十分となりご迷惑をおかけしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

採血スタッフに対して、テープの貼付方法や手順を確認したところ、ズレやすい手技も確認されたため、あらためてテープの貼り方と止血について、注意と教育を行いました。また、出血した際に血液を吸収するパッド部分を少しでも大きくするために、大きいサイズの止血テープへの変更も検討しております。

今後も安心して検査を受けていただける環境づくりに努めてまいります。お気づきの点がございましたら、ご意見を賜りますようお願い申し上げます。

中央検査部

ご意見へのお返事（8月）



＜ご意見・ご要望など＞

いつもスムーズに採血を終了しておりましたが、今回、3回にわたり針を刺し直されました。一度目の採血で足りないかもしれないと言われ、10分待てば分かれると話され、結局、8本（倍）採られた。ベテランスタッフに交代したが、無理矢理腕を抑えられ、深く刺され、とても苦痛を感じた。

（R08.7.27日付けご意見）

＜お返事＞

この度は、再採血や穿刺中の対応により、身体的な痛みと精神的なご負担をおかけしてしまい、誠に申し訳ございませんでした。直ちに担当した技師に聞き取りを行い、当日の対応について振り返りを実施いたしました。

当日は、腕の内側の血管が穿刺時に逃げてしまう可能性があるかと判断し、外側の血管を選択して穿刺いたしました。血液流入不良となっていました。再採血の際にも流入不良を認め、更に追加の穿刺を避けることを最優先に考え、穿刺状態のままベテラン技師に交代しました。交代後、針先が確実に血管内へ留まるよう血管に沿って針を前方へわずかに進める操作を行っており、その際に針が深く刺さっているように感じられた可能性があると考えております。また、血液流入不良時には必要な採血量を確保するため、大きい容量の採血管1本に変え、小さい容量の採血管2本に変更して採血する場合があります。そのため、再採血に使用した採血管に加え、採血管の変更による追加使用が生じてしまいました。しかしながら、これらの状況について患者への十分なお説明と配慮が足りておらず、結果としてご不安やご不快な思いをおかけしたこと、あらためて深くお詫び申し上げます。いただいたご意見は、採血に携わるスタッフ全員で共有させていただき、患者さんの身体的・精神的なご負担をできる限り軽減できる採血手技の実践に努めてまいります。

中央検査部